



ながわまち

令和7年11月1日発行

第80号

議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■

■編集／広報広聴常任委員会■

令和7年度第2回

議会報告懇談会

★ワークショップ開催!!

★小人数で意見交換します!!

11月15日(土)
10時と14時

■詳細はP.31をご覧ください。

●長和町議会 令和7年9月定例会

- ◇令和6年度決算認定 ○○○○○○○○ 2
- ◇委員会審査報告 ○○○○○○○○○○ 6
- ◇意見書 ■臨時会 ○○○○○○○○○○ 13
- ◇一般質問 ○○○○○○○○○○○○○○ 15
- ◇議会視察研修報告 ○○○○○○○○○○ 23
- ◇長和町「あの人を訪ねて」 ○○○○○ 32

★「美しい塔」(和田美分原高原) ★
(P.30に写真の説明を掲載しています)

こんな事業に使われました！

保育の現場でも
パーレス化が進んで
います。子供関係のプ
リントはどんどん増え
て管理が大変なので、
データでいただけで
なくす心配もなく安心
です。今後は写真販売
など順次機能を増やし
活用していきます。

農作物被害抑制の重要な費用は生きた金の使われ方です。長和町の成果は周辺市町村に比べ群を抜き多い。県の補助が倍程度になれば広域で捕獲数増は見込める。息子も狩猟免許取得。止め刺しの問題が押し掛かる。



保育ICT化システムの導入
保育ICTシステム導入事業
490万4,276円

保護者の利便性
と保育業務の負担軽減による保育の質の向上、園児の安全確認を目的に保育ＩＣＴシステムが導入されました。欠席遅刻の連絡、連絡帳機能やおたよりの配信、登降園管理もできるようにしました。



有害鳥獣駆除対策事業
1,754万7,000円
15万1,000円

県補助金 415万1,000円

猟友会長と支部
 と長和町ワナの会に
 よる有害鳥獣駆除が
 行われた。ニホンジ
 カ944頭(前年比
 49頭増)とイノシシ
 32頭(2頭増)を捕
 獲した成果。1頭
 当たり1万8千円
 (県7千円と町1
 万1千円)の手
 当が出る。



たかやまスキー場関連費
工事請負費、圧雪車等購入費合計
2億3,112万3,500円

圧雪車ピステン
2台購入費1億38
38万円、人工降雪
システム設置工事6
930万円、第1ク
ワッドリフト修繕工
事935万円、そ
の他修繕工事11
99万円、スキ
場レンタル備品購
入費210万3
500円。

財源内訳は、
補助金2218万円、
国庫
円余、
辺地債1億19
00万円、
過疎債65
413万円余。
一般財源2
済する
過疎債の3割分と
一般
社が町に使用料として
納入する。

令和6年度 私たちのお金は



Ogino

消防団の活動は多岐にわたり、その重要性はますます高まっています。が、団員の確保に苦慮している。団員の報酬が直接本人に支払われる方式となり、活動が報酬に直結して歓迎されているが、分団の運営費が減っている状況にある。



非常備消防費

令和7年4月の消防団員数は230名

3,979万8,000円

火災、水災、震災など近年頻発化・激甚化が進む自然災害に備える消防団活動費。39万3千円はふるさと納税基金から充てられました。その他、消防施設費に399万9千円、防災対策費に763万1千円を支出。

病院負担金には、病院施設の建設改良や医療機器整備に係る経費、指定する医療に要する経費があります。令和6年度は、老人保健施設「いこい」の経営改善のため負担金が前年より5559万8千円多くなりました。



Tafuku



依田窪医療福祉事務組合(依田窪病院・老健いこい等)負担金

5億9,317万3,381円

病院の運営等に関する経費は、病院の建設改良に要する経費(元利償還金、利子償還金)2億1176万6千円、救急医療の確保に要する経費4882万6千円、高度医療に要する経費5386万9千円などを含みます。



道路橋梁維持管理経費

町単独事業

1,798万6,546円

近年町内各所における道路・水路等の老朽化等による緊急を要する修繕工事は年々増加傾向にある。長久保大沢線落石防止側溝修繕工事、大門町道追分7号線舗装工事、その他舗装修繕工事9件、道路修繕工事56件。



Sato

増加傾向の道路・河川等修繕要望に対して、実施の迅速な対応を要望。限られた予算とマンパワーの中で、緊急性の高い箇所から順次対応して補修工事を行うため、先行自治体の「ICT活用」等についての事例研究も要望したい。

「ながわごん」の運行時間は午前8時30分から午後3時30分までと運行時間が短く、病院利用などには不便が残っています。この問題をカバーするためにライドシェアの導入を検討していく必要があります。

国の政府実行計画において2030年度に、設置可能な公共施設の50%以上に太陽光発電施設を設置することを目指すとされている。近年の異常気象に对应する上でも、速やかに具体的に組み込んでいきたい。



Watanabe



Hata

巡回バス等運営事業委託額合計
6,497万2,000円
巡回バス「ながわごん」**6,081万9千円**
町バス運行**396万円**
役場マイクロバス運行**19万3千円**

令和2年10月から新交通体制で運行を開始した町内巡回バス「ながわごん」はさらに高効率を図るため、定時停路線運行から、同じ運行エリアで令和6年4月「ドアtoドア」型のフルデマンド実証運行に移行しました。

再生可能エネルギー普及促進事業
1,352万3,858円
調査委託料**795万3000円**
(内補助金**596万4000円**)

町の公共施設に太陽光発電設備を設置することを目的として、環境省の補助金を利用し26箇所の公共施設等への太陽光導入量調査を実施しました。今後は屋根上設置型となった8施設の管理者に意向調査を行っていく。



小川純夫
監査委員

羽田健一郎
町長

丸山淳子
代表監査委員

7月1日から30日にかけて、丸山淳子代表監査委員と小川純夫議会選出監査委員により、令和6年度一般会計、特別会計及び公営企業会計決算について、審査が行われました。その結果、8月26日に「一般会計、特別会計については、歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び諸書類、公営企業会計については、決算報告書、財務諸表、決算附属書類及び証書類を審査した結果、経理は収支とも適正であるものと認める」との審査報告書が羽田町長に提出されました。

令和6年度
決算

令和6年度
決算

一般会計歳出決算額 61億0798万0514円

令和6年度一般会計・特別会計決算を認定しました。

町のお金はこんな事業に使われました

特別会計歳出決算額 19億9928万4394円

令和6年度 長和町会計別決算額

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	62億7126万5337円	61億0798万0514円	1億6328万4823円
国民健康保険 特別会計	7億6035万8991円	7億5308万9312円	726万9679円
国民健康保険歯科診療所事業 特別会計	464万0236円	464万0236円	0円
後期高齢者医療 特別会計	1億0908万2291円	1億0834万1292円	74万0999円
介護保険 特別会計	10億9891万2886円	10億4000万7943円	5890万4943円
同和地区住宅新築資金等貸付 特別会計	719万4592円	1万2708円	718万1884円
観光施設事業 特別会計	1億0249万8054円	9131万4893円	1118万3161円
和田財産区 特別会計	579万3117円	187万8010円	391万5107円
特別会計合計	20億8848万0167円	19億9928万4394円	8919万5773円
合 計	83億5974万5504円	81億0726万4908円	2億5248万0596円

令和6年度 上水道事業会計決算額 (消費税抜)

科 目	金 額	内 容
収益的収支		
事業収益	2億5155万5386円	給水収益 1億4347万5899円, 補助金 2263万1000円
事業費用	2億4895万4660円	減価償却費 1億5652万1186円, 支払利息等 1776万0072円
資本的収支		
資本的収入	4519万7500円	補助金 4331万1000円
資本的支出	8514万7214円	建設改良費 104万円, 企業債償還金 8222万1145円

令和6年度 公共下水道事業及び排水処理施設事業会計決算額 (消費税抜)

科 目	金 額	内 容
収益的収支		
事業収益	4億5740万3435円	下水道使用料 1億0755万5102円, 補助金 1億1104万1000円
事業費用	4億1503万4164円	減価償却費 3億1206万1994円, 支払利息等 1829万7384円
資本的収支		
資本的収入	2億0203万4000円	補助金 8203万4000円, 企業債 1億2000万円
資本的支出	3億0698万6592円	建設改良費 1991万7819円, 企業債償還金 2億8706万8773円

令和6年度末 基金の動向 (一般会計21基金)

基金名	5年度末残高	6年度末残高	増 減	会 計	5年度末残高	6年度末残高	増 減
財政調整基金	15億3368万円	12億4533万円	△2億8835万円	一般会計	58億3514万円	54億5573万円	△3億7941万円
新町一休感醸成基金	4億6309万円	3億5871万円	△1億0438万円	上水道事業企業債	10億9132万円	10億0910万円	△8222万円
ふるさと納税基金	7345万円	7346万円	1万円	下水道事業企業債	16億2833万円	14億6126万円	△1億6707万円
21基金合計	32億3249万円	28億4857万円	△3億8392万円	起債残高合計	85億5479万円	79億2609万円	△6億2870万円

令和6年度 一般会計決算

決算特別委員会 で審査！ 令和6年度一般会計決算審査報告



渡辺決算特別委員長

町の会計は、5月末に確定した収入や支出を整理した後、監査委員による決算審査があり、その意見を受けて、町長から9月議会に決算認定の議案が提出されます。委員会での決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されたか、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わり評価、承認するものです。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされなければなりません。

決算特別委員会は、9月1日(月)の議会開会日に提案されて設置。議長と議会選出監査委員を除く8名の議員で構成され、渡辺副議長を委員長に、9月10日(水)11日(木)の2日間、担当課ごとに順次審査を行いました。審査の結果、令和6年度一般会計決算は認定すべきものと決定されました。

総務課

人件費＋包括業務委託料

正規職員数91人
会計年度任用職員88人
包括業務委託79人

11億3,496万2千円

正規職員の平均給与月額32万4800円。

巡回バス等に係る委託料

巡回バス「ながわごん」
6081万9千円／町バス
3960万円／役場マイ
クロバス19万3千円

6,497万2千円

4月1日から、定時定路線運

行を見直しAーシステムによるフルデマンド運行を開始した。

問 小型バス導入の進捗状況はどうか。

答 国庫補助を受ける要件である地域公共交通計画を7年度中に策定予定となっている。

長久保支所管理費

853万2千円

光熱水費418万3千円

問 照明LED化に掛かる費用は。会場使用料をほとんどの団体に減免していると思われる

が見直しが必要ではないか。

答 概算で500万円である。使用料の徴収については極めて丁寧な説明が必要である。

和田支所管理費

758万8千円

機械器具(エレベーター)保守等委託料36万円

問 和田支所のエレベーターの廃止について、検討はしたか。

答 エレベーター存続について、選挙の投票所であることや会議室等の高齢者の利用もあり廃止は難しい。

防犯灯設置改修事業

202万円

大門地区17箇所／長久保地区4箇所／古町地区11箇所／和田地区17箇所

問 近年の犯罪情勢を踏まえて防犯カメラの増設が必要だと考えるが、今後の具体的な計画はあるのか。

答 令和6年度、7年度において新規の防犯カメラ設置の予定はない。来年度に向けて、学校等に要望を聞き、設置を検討したい。防犯上、保育園等に設置す

することも検討する。

非常備消防費

3,979万8千円
消防団員報酬1359万7千円

問 団員報酬が直接支払われる方式となったが、分団運営費が少なくなる形となっているというが、令和6年度の本部・分団の運営費はそれぞれいくらだったのか。

答 令和6年度の本部運営費は70万円、分団運営費は各分団に25万円を交付した。

総合政策課

地域おこし協力隊(企画費)

1,182万2千円
起業支援金200万円
委託型事業960万円
募集事業22万2千円

令和6年度4名を採用し、6年度末9名が活動している。

地域おこし協力隊全体の費用は、企画政策係所属2名118万2千円、農政係所属2名97万4千円、商工観光係所属3名72万6千1円、文化財係所属2名9万3千8円、9名の合

計で3820万5千円である。

ブランシュたかやまスキー場整備費・備品購入費

2億3,112万3千円
辺地対策事業債1億1980万円／過疎対策事業債6500万円

問 ブランシュたかやまスキー場に関して、起債の明細に辺地債と過疎債がそれぞれ記載されているが、係の説明には辺地債の記載がない。この数字の違いは何か。

答 起債対象事業は降雪システム設置工事と圧雪車購入となる。まず辺地債を優先して充て、不足分を過疎対策事業債で充たものである。

産業建設課

鳥獣被害防止対策費用

1,910万5千円
原材料費698万円／対策整備交付金1212万5千円

長門牧場、町内新設4箇所、補修5箇所の防護柵資材提供。獣害防止柵総延長5515m。

問 長和町猟友会とワナの会それ

ぞれの駆除頭数の実績は。

答 長和町猟友会706頭、ワナの会238頭、合計で944頭となっている。

教育課

事務局一般経費

6,575万9千円
教員住宅維持管理費用
光熱水費29万9千円
建物修繕費19万2千円

問 空室となっている教員住宅を空き家バンク登録やシェアハウスで活用してはどうか。

答 教員が入居を希望した際に入居できるように、一定程度は空室の状態で維持していきたい。

252万円
学校ICTサポーター費用
委託料

問 GIGAスクール対応ICT相談支援体制とはなにか。

答 一般社団法人上田地域振興事業団に委託し、専属の方が長門小・和田小に月2回訪問、さらに電話相談等にも対応して頂いている。

学校給食運営事業

小・中学校給食食材費

2,265万5千円
問 米の高騰に伴う給食費値上げの動向については、どの程度進捗しているか。

答 今年度産の主食用米の値上げは確実であると思う。稲刈り等が終わった頃合いを見て、生産者と協議し、栄養教諭と給食費の価格を定めていきたいと考えている。

長和の里歴史館・文書館運営事業

551万7千円
委託料不用額372万5千円

問 共立ソリューションズへの業務委託について、多額の不用額となっているが詳細説明を。

答 当初予算編成後に、職員1名が退職を希望し不用額となったもの。本来、補正予算で対応すべきであり、今後十分に配慮する。

森林環境譲与税を活用

問 「黒耀石のふるさと」創生事業で、森林環境譲与税を活用して史跡公園内の古木の伐採を行っているが、詳細説明を。

答 産業建設課の予算、林業振興費の農林事業その他委託料、41万7800円の19万3600円を使って伐採した。

保健福祉課

社会福祉一般経費

**民生児童委員総事業費
492万3千円**

問 民生児童委員の報酬は。

答 町の福祉委員として、年額で委員長に12万9千円、副委員長に9万8千円、委員に9万1千円を支払っており、金額は条例で規定されている。

保育園児童運営費

**保育園ICTシステム
導入事業
490万4千円**

問 保育園ICTシステムにおいて、今後増える機能はどのようなものがあるか。

答 現在は登園降園時の打刻やお便り配信を行っているが、今後は写真販売や保育の指導案などにも利用したいと考えている。

母子保健事業

妊婦健診・予防接種等

2,263万1千円
問 令和6年度の出生数と、令和7年度の出生数の見込みは、何名となっているか。

答 令和6年度の出生数は9名、令和7年度の出生数は15名の見込みである。

問 現在町内で活動している子育てサポーターは何名いるか。また、その活動内容は。

答 子育てサポーターは26名登録されている。2歳児歯科健診時に、お子さんの託児を通して子どもの育ちを見守って頂いている。

高齢者支援事業

39万5千円
**運転免許証自主返納促進
事業12万5千円／補聴器購
入費用補助事業27万円・申
請者9名**

問 タクシー利用補助券は、利用価値が悪いと聞いているが、検討をする予定はあるか。

答 タクシー利用補助券は、微増（2万7千円、8千円増）となっているが、町内にタクシー会社がないこともあり、使い勝手がない



保育園にICTシステムを導入（ながと保育園）

悪いとの声もある。一方、デマンドバスによる公共交通機関が整備されたことから、タクシー利用補助券の交付をどのようにするか、今年度中に検討する予定である。

地域支援事業

932万円
**配食サービス事業業務
委託料**

問 配食サービス事業は、今後の利用見込みについて、増減はどうなるとみているか。

答 支援を必要とする高齢者は増えているが、配食サービス利用者は横ばいの状況。配食サービス事業の他、民間のお弁当サービスや買い物支援、ヘルパーによる支援等の利用も進んでいるためと思われる。

児童福祉費

児童館運営事業

1687万6千円
問 土曜日預かりについて、利用できない日があるというが、その後の対応はどうかしているのか。また夏休みの早朝利用については今後どのように対

賛成討論

!



阿部由紀子 議員

新たな取組が効果を上げた

令和6年度長和町一般会計決算の認定について、交通分野では巡回バスからデマンド交通へ移行した結果、利用者数が増加し、住民の足の確保に効果を上げていることが確認された。利便性の向上に向けた更なる検討を期待する。

教育子育て分野では、児童クラブの利用者が増加、現行の施設では手狭な状況が報告された。人員を調整し、高学年を学校の空き教室に分散させるなど工夫がなされているが、児童館としての新たなスペースが必要であると考えます。また、DXの取組が着実に進め

られている。町のお知らせアプリ「Nナビ」、書かない窓口「指ナビ」、スマートフォン教室に加え、保育園では欠席連絡や登降園管理システムが導入され、保護者や職員双方の負担軽減に寄与している。

さらに適正な予算執行を

文化財関連において、人件費を当初予算に計上しながら執行されず、不用額が発生した事例があった。補正予算で整理する余地もあったのではないかと。予算執行の機動性を高める工夫を求める。

税務分野では、定額減税や相続放棄の影響で徴収率が低下。大口滞納者への厳正な対応と合わせ、丁寧な相談支援を期待する。

保健福祉課においては、限られた職員体制の中で膨大な業務を着実に遂行し、住民サービスを滞りなく提供した努力に、改めて敬意を表したい。

総じて、令和6年度の決算は厳しい財政・社会状況の中にあっても、町民生活の安定と将来への布石となる施策が展開されたものと認められる。今後さらに期待し本議案に賛成する。

(抜粋)

応していくか。

答 要綱において土曜日は受入日となっており、規定どおりの対応をしたい。

また、夏休み期間、家庭の事情により7時30分から預かって欲しいというお宅の対応をしているが、要綱では8時からと規定しているので、その方向で対応したい。

隣保館運営事業

報酬・旅費 0円

824万8千円

問 男女共同参画について、

一昨年に第2次長和町男女共同参画計画が作られ、昨年度はそのスタートの年だったと思うが、決算に項目が何もない。委員会も開かれてないのはなぜか。また、今年は何か取り組みをしているのか。

答 令和6年度は、委員会を開催せず、事業も進展しなかった。7年度は、7月に推進委員会を開催し、事業計画により、事業所向けの研修の開催や男女共同参画の周知を進めている。

住民生活課

町税収入が減少(対前年)

7億609万2千円

町民税2億2071万5千円(2513万9千円減)
／固定資産税4億1592万8千円(2513万9千円減)
／たばこ税3949万7千円(55万2千円減)

問 相続放棄の増加は、町税の徴収率だけでなく、空き家問題にも大きく影響すると思われるが、町としての対策は。

答 相続放棄により納税通知書を送付する相続人がいない場合、固定資産税は徴収できない。この場合、家庭裁判所への申し立てを経て、相続財産清算人を選任、土地や家屋などの相続財産を処分することで債務弁済に充てることができるが、1件あたり100万円ほどの予納金を支払わなければならない、予納金の返還が受けられないこともある。今後関係部署と協議の上、相続財産清算人を申し立てる要否を勘案していきたい。

総務経済常任委員会



佐藤恵一 委員長

委員長／佐藤 恵一
副委員長／荻野 友一
委員／原田 恵召
小川 純夫
渡辺 久人

総務経済常任委員会は9月12日(金)に委員会を開催。付託された令和6年度特別会計及び事業会計決算認定、条例案、令和7年度補正予算案等について審査を実施。すべての議案が認定・可決すべきものと決定されました。

令和6年度長和町上水道事業会計決算認定

水道事業収益は、2億5035万3千円

問 滞納について、分納誓約はどのくらいか。滞納整理は実施しているか。

答 分納誓約がいくらかある

か集計していない。分納者には相対で話をしている。滞納者には滞納整理も行っている。

令和6年度長和町公共下水道事業会計決算認定

水道事業収益は、4億6815万1659円

問 経常収支比率が110%、料金回収率が25%となっており、一般会計繰入金により経営できてい

る状況である。この先をどう考えているか。

答 現在、料金改定について検討している。現状大

変厳しい経営状況となっており、一般会計から多額の基準外繰入金を入れている状況である。今後の見通しとして、5年毎の使用料見直しを検討していく必要がある。町だ

けでは解決できない問題だと思う。広域化や青木村との連携の話を進めるとともに、国や県に補助事業の拡充等の要望をしていきたい。

長和町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

審議会からの答申等、詳しくはP.28をご参照下さい。

問 この改正によって、報酬の総額はどのくらい増となるのか。

答 議員10名分、(議員報酬等)591万6千円余の増額となる。

賛成討論

渡辺久人 議員



議員の報酬増額を求めて要望したが、答申の中で、議員の資質について大分問われていた。私たち議員も、特別職の公務員として、日頃から住民や職員に対する言語態度

賛成討論

原田恵召 議員



町当局においては、短い期間の中で話を進めて頂き、議会でも、短期間の中で議会報告会等での進めてきたが、私たちの任期は11月末まで。この報酬は、来期の議員の報酬を決めるとい、全国的にも議員なり手不足の中で、県の報酬レベルよりも少し上がった、本当にありがたい金額を出して頂いた。新議員にはこれをもとに、しっかりと働いてほしい。

令和7年度長和町一般会計補正予算(第3号)について
既定の予算総額に7536万1千円を追加する。

総合政策課

一般職退職手当組合

負担金 職員2名分の特別負担金

問

令和6年度末に退職した職員の退職金分の増額補正が、なぜ今9月議会になるのか。

759万7千円増

社会文教常任委員会



田福光規 委員長

委員長／田福光規
副委員長／阿部由紀子
委員／龍野一幸
羽田公夫
森田公明

答 退職は3月末だが、退職金の計算を4月以降に行うため、その際、定年退職時の退職金に、早期退職分の上乗せを計算して職員に支払われる。そのため、今年度に入ってから退職金の精算となり、今回の補正をお願いしている。

繕した。原因等については今回調査したい。

364万7千円増

防災対策費 Jアラート
新型受信機更新費用

問 Jアラートの新型受信機は、どんな機能が新しくなっているのか。

答 地震や武力攻撃の際に防災無線と連動して住民への情報伝達を行うためもの。新型受信機は、来年度から運用が行われる新たな防災気象情報に対応する。

1,275万円増

総務課
町内公共交通事業者地域連携ICカード導入
支援負担金

問 公共交通のICカード導入について、事業完了はいつか。

答 今年度内となる。

29万7千円増

ケーブルテレビ施設運営費 役務費点検・検査料

問 電柱の光ケーブルを支えるワイヤーの脱落事故を受け手のことだが、脱落したワイヤーの修繕はしたのか。

答 脱落したものは既に修

18万円増

定住促進事業 移住交流事業業務委託料

問 移住交流会はこの団体が実施する予定か。

答 町内業者で、地域おこし協力隊のOGであるナワメ社に委託したい。初めての開催で、まずは移住者の交流会を行う。今回の実績を踏まえ、次は移住希望者を対象とした交流会も企画したい。

令和6年度長和町国民健康保険特別会計（事業勘定）決算認定

問 長和町の一人当たり医療費は令和6年度が県内第7位と上位である一方、一世帯当たり保険税調定額は県内70位となっている。令和9年度の上小地域での医療費指数の統一を踏まえて、今後の見通しはどうか。

答 今後、国保税を上げて

社会文教常任委員会は9月16日（月）に委員会を開催。付託された令和6年度特別会計決算認定、令和7年度一般会計補正予算案、請願2件について審査を実施。すべての議案が認定・可決すべきものと決定されました。

いかざるを得ない状況であるが、町民の負担が大きくなり過ぎないように基金を活用していきたいと考えている。

令和6年度長和町後期高齢者医療特別会計決算認定

問 国保税より後期高齢者医療保険料の方が、収納率が高い原因はなにか。

答 後期高齢者医療保険料は、75歳になって時期が

来ると自動的に年金特徴となる。国民健康保険税と住民税は年金特徴から外されてしまう場合が多いため、後期高齢者医療保険料の方が、収納率が高くなると考えられる。

問 国保税が、年金特徴を外れて普通徴収になってしまふ未納者は基本的に払えないという状況なのではないか。そのような中で徴収率を上げるのは困難ではないか。

答 未納者については、実際の生活状況の確認や、金額によっては長野県地方税滞納整理機構へ移管を行い、納税する負担能力がないという判定が出たところで必要に応じ執行停止、不能欠損処分をするといった対応を行っている。

令和6年度長和町介護保険特別会計決算認定

状況はどうか。改定が必要なものに思うが、どのように考えているか。

問 一時期、施設入所者が増え施設給付費が増えたことがあった。コロナが流行し全体的に給付費が減ったが、居宅給付費が増えるなど、9期介護保険事業計画の計画時との

答 第9期介護保険事業計画では、施設給付費が伸びると見込んだが、施設給付費は減少し居宅介護給付費が増加している。来年度作成する第10期介護保険事業

令和7年度長和町一般会計補正予算(第3号)について
既定の予算総額に7536万1千円を追加する。

住民生活課

賦課徴収費 制度改正に伴う軽自動車税システム改修業務委託料

登録時では、外形だけでは判別がつかないため販売証明書や車両に係る取扱説明書の内容を確認している。

問 軽自動車の総排気量や車種は外形で区別できるものか。何ををもって判断するのか。

答 今回改正された新基準の

1万5千円増
環境衛生総務費一般経費
河川水質検査委託料

計画ではその状況を反映して、策定したいと考えている。

問 河川水質検査は、今後、年何回実施し、予算はいくらを見込んでいるか。

答 金額は24万2千円を見込んでおり、今年度はPFAS検査を追加するため、予算残額との差額1万5千円の補正をお願いするもの。年1回の検査で、今年度は全体7か所の検査のうち、3か所を行う予定である。

保健福祉課

5千円増
隣保館費需用費 建物修繕(トイレ修繕費)

問 ふれあい館男子トイレの洗面台修繕は、部品を交換するのか。

答 洗面台が目詰まりを起

165万6千円増
教育課
長門小学校管理一般経費
校用機械器具費

こし、排水が流れなくなってしまうため、分解・修繕を行うものである。

問 長門小学校の屋外消防設備とは、具体的にはなにか。

答 消防団で使用している可搬式の消防ポンプである。プールなどの水利を利用した消火活動に使用する。

53万2千円減
特定健康診査等事業費
事務用備品費

問 プリンターの購入費用が保険者努力支援交付金の対象外になったのは何故か。

答 予算編成時には、県の担当から交付対象経費に

46万6千円増
黒耀石のふるさと保存整備費 黒耀石ミュージアム玄関ドア修繕費

問 自動ドアは専門のメーカーになると思うが、その他の修理は町内の業者が処理するのか。

答 できるものは、町内業者で処理する。案件により額の大きなものは指名競争入札になるが、基本的には地元でよくわかっている業者をお願いして対応していきたい。

令和7年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)について
既定の予算総額に1019万6千円を追加する。

なるという情報提供があった。4月に入り、国から示された令和7年度の交付要綱に、国保連合会が提供しているシステムに関するプリンター等に係る経費は対象外とする旨が掲載されたもの。

長和町議会 令和7年第3回定例会が、長和町役場議場に於いて、9月1日(月)から9月22日(月)までの22日間の会期で開かれ、報告14件、発委1件、令和6年度決算認定10件、条例6件、令和7年度補正予算8件、請願2件、意見書3件、その他4件について審議を行い、すべての議案が、全員賛成で可決・認定・採択・適任とされました。

また、7人の議員が一般質問を行いました。
審議結果は、議会ホームページに掲載します。



9月議会

意見書

長和町議会では、9月議会において、議員提出による意見書1件と、請願を受け提出された意見書2件を、全員賛成により採択し、国等に提出しました。

上下水道事業に対する国の財政支援の強化等を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・衆議院議長 他4機関

本年1月、埼玉県八潮市において発生した下水道管の陥没事故は、全国各地で老朽化が進む下水道施設の維持管理が喫緊の課題であることや、上下水道施設が私たちの衛生的で安全な日常生活を支える上で必要不可欠なインフラであり、その機能が長期間失われることは、公衆衛生面の悪化、交通麻痺、経済活動への影響など、計り知れない損害をもたらすことを改めて浮き彫りにした。

地方自治体は、日々、老朽化した上下水道施設の点検、補修、更新等に取り組んでいるが、厳しい財政状況の中、広範囲に及ぶ施設のため多額の費用が必要となることから、地方財政だけでは対応しきれない状況に直面しているのが現状である。

今後、必要な国の財政支援が得られなければ、老朽管の更新が遅れ、漏水や管路破損といった重大な事故リスクが増大し、ひいては市民生活の安全確保に支障

をきたす恐れがある。よって、地方の上下水道事業者の実情と要望を踏まえ、以下に記す財政支援を大幅に強化するよう強く要望する。

1 必要な予算枠を確保し、上下水道事業者の要望どおり配分する。

2 補助制度の拡充及び採択要件の大幅な緩和を行う。

3 地方の実情を踏まえた新たな財政措置等を講ずる。

(要旨)

提出者 田福光規 議員

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書

・提出先 内閣総理大臣・文部科学大臣 他4機関

長野県では2013年度に小中学校全学年で35人学級が実現し、複式学級の定員についても独自に小中学校とも8人としている。しかし、義務標準法の裏付けがないため財政的負担は大きく、学級増による教員増の多くを臨時的任用で対応している。また、小学校の専科教員は国基準で配置され、県基準の学級数と運動していない。

学校現場は、膨大な業務量に加え、一人ひとりの子どもに寄り添った対応が求められて深刻な人手不足にあり、教員は多忙を極め、教材研究や授業準備を勤務時間内に行うことはきわめて困難である。豊かな学びを実現するためには、さらなる少人数学級推進と教員

の持ち授業時数軽減のための抜本的な教員定数の改善が不可欠である。よって、来年度予算編成に、下記の措置を講じられるよう強く要請する。

- 1 どの子にもゆきとどいた教育をするため、以下の3点を検討し、必要な教育予算を確保すること。
- (1) さらなる少人数学級の推進。
- (2) 複式学級の学級定員の引き下げ。
- (3) 教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善。
- 2 義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元するなど拡充すること。(要旨)

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書案

・提出先 内閣総理大臣・文部科学大臣 他2機関

今、小・中・高を合わせると41万人を超える不登校の子どもがいる(23年度)。とりわけ小・中学校では11年連続で増加し、過去最多。また、貧困・いじめ・教職員の未配置など解決すべき課題が山積しており、長時間労働の実態も改善されず、子どもたちの豊かな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況である。学習指導要領の改訂は、子どもたちのゆたかな学びの保障や教職員の働き方改革に大きくかわる。(P.12 語句解説参照)

このため、「カリキュラム・オーバーロード」の状態等を早期に改善し、次期学習指導要領の内容の精選、標準授業時数の削減を強く求める。(要旨)

臨時会

7月8日(火)、令和7年長和町議会第2回臨時会が開催され、令和7年度一般会計補正予算1件、契約の変更1件について審議し、いずれも全員賛成で可決されました。

令和7年度長和町一般会計補正予算(第2号)について
既定の予算総額に1445万8千円を追加する。

138万5千円増

庁舎一般管理費 NHK
テレビ受信料 テレビ機能
付きカーナビゲーション設
置公用車の未契約分

問 公用車8台分の登録年

から令和8年3月分までの受信料を支払うと言うが、まだ令和7年7月でここまでの清算ではないのか。

答 未契約8台分の受信料

を令和7年度末分まで支払い、NHKとの協議になるが、テレビ機能を外した車兩分を後に精算して、返金を受けることになると思う。

1806万1千円増

物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金事
業町内全世帯に可燃不燃
のごみ袋を2本ずつ配布

問 ごみ袋の引換期限

はあるのか。また、使われなかった場合の手数料費用は。

答 令和7年8月事業

開始となる。交換期間は約1カ月ぐらいを見込みたいと考えている。手数料は精算が必要かもしれないが、全世帯に配布して使って頂くことで計上している。

1173万9千円減

ローカルガイド人材の
持続的な確保育成事業
観光庁へ申請した事業が6
月5日に不採択に

問 今回は補助金が付かなかったが町としては必要な事業だと思われる。これからどのように進めるのか。

答 今ある予算の中でローカルガイド人材の育成を図っていききたい。また、県の観光機構と連携を図り、機構の人材育成にも参加したい。

★語句解説★

問 「カリキュラム・オーバーロード」とは？

答 「学校における教育・学習内容が質・量ともに過剰過密となることで、児童生徒や教員に過度な物理的・精神的な負担がかかっている状態」を指す。子どもの疲労感が増大する、深い学びの実現が停滞する、必要な学びができない恐れがあるなどの影響が言われる。

- 1, 田福^{たふく こうき}光規 議員 …………… P.16
- (1) 上下水道料金の引き上げ検討について
 - (2) 带状疱疹ワクチン接種の対象者の拡大について
- 2, 阿部^{あべ ゆきこ}由紀子 議員 …………… P.17
- (1) 部活動から考える町の子育てと未来
- 3, 原田^{はらだ えしろう}恵召 議員 …………… P.18
- (1) 災害時の避難所運営と災害関連死を出さないために
 - (2) 町の宣言看板を役場入口に移設できないか
 - (3) 4年間で一般質問した事案の回答結果は
 - (4) 休業中の自然の家はどうなっているのか
- 4, 佐藤^{さとう けいいち}恵一 議員 …………… P.19
- (1) 町に魅力を感じ、継続的に町と関わる関係人口の創出の施策は
 - (2) 長和町の活性化のために明確な人口増加化施策を打ち出さないのか
- 5, 龍野^{たつの かずゆき}一幸 議員 …………… P.20
- (1) 自治体情報システム標準化・共通化について
- 6, 荻野^{おぎの ともかず}友一 議員 …………… P.21
- (1) 長和町地域公共交通について
 - (2) 長和町の小学校教育について
- 7, 渡辺^{わたなべ ひさと}久人 議員 …………… P.22
- (1) 合併の成果と羽田町政について

質一般

7人の議員が 町政を問う！

令和7年第3回定例会では、9月8日(月)、9日(火)に一般質問を行い、7人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。
「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

上下水道料金の引き上げ検討について

一般会計から繰入れ、町民負担の軽減を

他事業へ影響もある。慎重に検討しなければ

問 町は、上下水道事業の今後の見通しを業者に委託・検証し、その結果を基に上下水道審議会に諮った。上下水道審議会の答申内容と答申に対する町の見解は。

答 産業建設課長 今後5年間を見据えて上下水道料金ともに25%引き上げることが適当であるとの答申で、改定時期を令和8年4月1日としている。町は答申案に沿った形で改定したいと考えている。

問 我が家の場合で試算すると、上下水道料金の平均は月3432円で、25%の値上げを行うと1ヶ月858円の値上げとなる。下水道があると仮定して試算すると、1ヶ月の下水道料金は

3963円で、25%の値上げを行うと1ヶ月991円の値上げとなり、合わせて1849円の値上げ、1年間は22188円もの大幅な値上げとなる。

現在、異常な物価高が続いており、町民は厳しい生活を余儀なくされている。今後、町民の収入が上がる保証が全くない中で、町民が負担する使用料値上げを中心にした計画になつてい

る。上下水道事業は、地方財政だけでは対応しきれない状況に直面している。解決には、一般会計からの対応、町民負担の在り方等を

検討すると共に、長野県や国に対しての働きかけ、財政支援が必要である。町の対応として、値上げ分の総額は上水道で約3000万円、下水道で約2000万円だが、その総額、あるいは半額でも一般会計で繰入れ、町民の負担を少なくすることが必要だと考える。

見解は。

答 産業建設課長 すでに一般会計から多くの金額を繰り入れている。繰入金額を増やすと、一般会計で実施している事業及び町民へのサービスの低下も危惧されるため慎重に検討しなければならぬと考える。

町民向けの「上下水道事業懇談会」の開催を
現在、懇談会を開催する予定はない

問 町民の理解を深め、意見を聞くために、町民向けの「上下水道事業懇談会」の開催を提案する。

答 産業建設課長 住民や企業の代表者等で構成される

上下水道審議会では慎重に議論を重ねて頂いており、町民に向けた懇談会を開催する予定はない。しかし、広報、ホームページ等で周知を徹底したい。

(抜粋)



秋の鷹山水処理センター



阿部由紀子
議員

部活動から考える町の子育てと未来

部活動の地域移行に関して、町の役割は

連携、調整、施設面での協力が主である

上田市教育委員会と足並みを揃えて必要な広報を実施する。

答 教育長 設立を検討できないか。と様々な課題があるが、可能であれば、公園や公共施設などに体を動かせる簡単な器具の設置についてスポーツ推進委員会へ諮っていく。

問 運動に親しむ機会が減少してしまいう子どもたちや町民のために、ランニングマシンや筋力トレーニング設備を備えた施設やクラブの

（抜粋）

ルバスを出来るだけ使ってほしい。保護者のご理解とご協力を頂きたい。

問 他に考えられる対応策はないか。

答 教育課長 財源の問題はあるが、新たな方策とすれば部活動タクシーが有効だと考える。

問 今後、吹奏楽部が地域移行する可能性は。

答 教育課長 令和9年にクラブ化を検討している。楽器などの頻繁な移動は難しく、大型楽器の保管や管理、指導者不足が検討課題である。

問 地域移行の状況を、広報や「Nナビ」などで定期的にお知らせいただきたい。

答 教育課長 中学校組合、

動懇談会を実施しており、指導者との連携を図っている。

問 地域クラブに参加できない理由として「送迎ができない。／仕事の都合で送迎に間に合わない。／和田からは7時台のバスがない。／送迎が難しいため、兄弟

のどちらかに諦めてもらうしかない。／デマンドバスの時間が合わず予約が取れないため保護者が送迎せざるを得ない。／朝はデマンドがないので何往復もしなければならない」等々の声がある。デマンドバスの朝夕運行や長期休暇中の対応は可能か。

答 教育課長 一般住民の予約が入らないため、スクー

問 新たに地域クラブでの指導を行う指導者へのサポートについてはどう考えているか。

答 教育課長 長和町だけでは対応できないため、県・他市町村と連携して国に要望していきたい。

問 町・学校・指導者との連携は、現状で十分に取れているか。

答 教育課長 年2回、部活



部活動改革ポータルサイト



原田 恵召
議員

休業中の自然の家はどうなっているのか

姫木平自然の家、盗難被害はどのくらいか

329万円余と電線ケーブル・配管設備など

問 八王子市から譲渡された姫木平自然の家に泥棒が入ってトイレなどに大きな被害が出たとのことだが、被害額及びその後の復旧は。

答 産業建設課長 3月に現地へ行ったところ、玄関の自動ドアが開いて天井等が破壊され、室内が荒らされていた。被害はウォシュレット10台、水洗トイレのフラッシュバルブ15ヶ所、水道の蛇口79ヶ所が破壊され持ち去られていた。高圧受電設備をはじめ電気設備の破損状況もひどく、屋内配線等がすべて抜き取られ、ボイラー室の配管設備も手の届く範囲のものはすべて持ち去られていた。ウォシュレット、蛇口等の被害額は329万5千円で、電線ケーブルや配管設備は算出できなかったため、設計会社へ依頼し積算中である。保険は全国町村会の「公有建物災害共済」に加入していたので、長野県町村会保険担当部署へ相談している。

問 この施設を最終的にどうするのか。

答 産業建設課長 被害額を算出して復旧等に係る費用を明確にし、施設の活用に興味を示している企業と打ち合わせを行った上で、保険対応として復旧するのか、それとも取り壊すのか判断しなければならぬ。

問 町で更地にし、大門財産区に返却したらどうか。

答 産業建設課長 現在、協議を行っている企業とマウント長和の意向を確認した上で、有効活用の見込みがないとなれば、町で解体して更地にして大門財産区に返却することも一つの選択肢と考えている。

答 産業建設課長 コロナ資金の返済等が優先し、町への施設使用料の納入は繰延になっている。改めて協議を行い、議会との懇談会を

実施し、今後の納入について方向性を示し、必要と判断すれば念書についても検討していきたい。

4年間で一般質問した事案の回答結果は

消防第一、第五分団の詰所移転は

第一分団詰所の移転は来年度事業で実施

問 消防第一、第五分団の詰所移転と、女子用トイレの設置はどうなったか。

女性消防団員数は、230名のうち36名と増加傾向にある。まずは新設予定の詰所に女性用トイレの設置を計画していき、次に既存の詰所の女性用トイレの増設についても計画的に進めていく必要があると考えている。

答 総務課長 第1分団の詰所は、令和8年度事業計画に「第1分団詰所新設事業」を計画している。第5分団の詰所移転も、実施計画に載せて、関係者などと十分に協議をしながら事業を進めていく予定でいる。

町へ返済が遅れている。念書をとらないか

議会との懇談会を行い、必要なら検討する

問 スキー場が県から借りたコロナ資金の返済によって町に返却する予定の返済金

が遅れているが、早期の返済を促す上でも念書を取ったかどうか。



佐藤 恵一
議員

長和町の活性化のために明確な人口増加施策を打ち出さないのか

町の人口増加施策を打ち出さないのか

国が責任をもつて対応していくべき

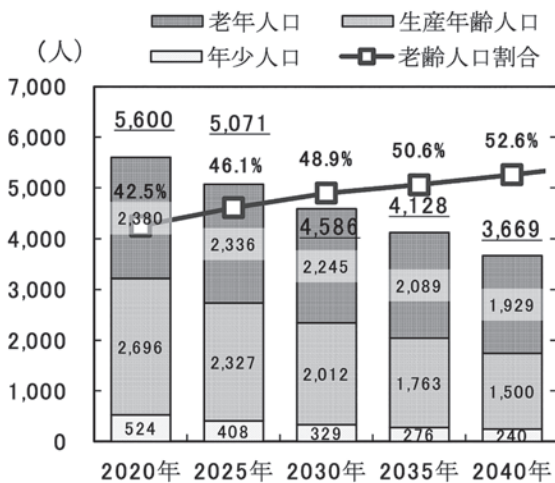
問 全国の約1割の自治体では人口増加傾向にある。長和町は人口減少傾向が続き5年後の2030年には約4500人となると予測されている。少子高齢化、人口減少傾向予測にどのように取組んでいくのか、具体的な施策方針(数値目標)を問う。

答 町長 全国的に人口が減少していく中で、人口問題についてそれぞれの市町村が対応していくには限界があるため、国が責任をもつて対応していくべきであると考えている。

国は地方創生2.0において「人口減少が進む中でも経済成長、地域社会を維持する」を目標としている。

人口減少が続く事態を正面から受け止め、社会・経済が機能する対応策も講じるとともに、住民の基本的な生活の維持、経済成長、公共サービス維持等をさらに推進していくとするもので、国は今後、この基本構想を踏まえた地方創生総合戦略を策定する予定となっている。国の総合戦略、長野県の信州未来総合戦略も注視しながら、町の人口減少対策を進めていく。

将来推計人口【社人研準拠推計】



町のデジ田戦略「空き家の活用施策」は空き家を効果的に活用する

問 空き家活用の具体的な施策は。

答 総合政策課長 具体的な

施策として、空き家改修DIYや空き家見学ツアー、移住者交流会などを考えている。しかし、空き家バンクの登録物件が少ないことが課題となっている。

問 デジ田戦略の業績評価指数(KPI)において、5年間の空き家売買成立目標が

★ 語句解説 ★

問 「デジ田戦略」とは？

答 令和7年3月に策定された「長和町デジタル田園都市国家構想総合戦略」のこと。

問 「業績評価指数(KPI)」とは？

答 目標達成度を測るための定量的な指標。

答 総合政策課長 業績評価指数(KPI)の設定は慎重に検討する必要がある。空き家バンクの売買成立件数の目標件数については、新規登録の空き家が減少する中で、今後5年で成立する見込みの件数を推計している。(抜粋)



龍野一幸
議員

自治体情報システム標準化・共通化について

自治体情報システム標準化、進捗は

新システム移行は課題多く難航している

問 自治体DX推進計画のひとつに自治体情報システム標準化・共通化がある。国の指導は令和7年度中に全国共通のシステムに移行せよ、と言ったものだが、長和町の進捗状況は。

答 総務課長 18の業務についてデータの洗い出しが済み、システム開発に入っている。国民健康保険は標準システムに変更できたが、取り扱う業者に依頼が殺到して人手不足が生じ、当町も含め遅延する。保健・福祉関係は令和8年2月、税関システムは令和8年10月にシステム移行の予定。

問 システム導入や改修には取り扱う業者と町職員とのやり取りが必然だが、どの

ように関わっているのか。

答 総務課長 手間と時間は非常に大きい。それぞれのシステム開発業者とワーキンググループを設け、情報管理係が中心となり、兼務も含め最大29名で打ち合わせを行っている。

問 標準化するメリットは何か。

答 総務課長 全国統一の仕様になるため、他の市町村とのデータ交換が容易になる。引越などでは、戸籍や住民票・税など様々なデータが容易に移動でき手続きが簡単になる。他は未知数である。一方、行政側ではコスト面のメリットは無い、と見込んでいる。

問 そのコスト面だが、通信

回路やクラウド利用経費などが別にかかるものと予想できる。コストの低減・削減、イニシャルは掛かるがランニングで抑えられる、などの試算は。

答 総務課長 町単独では試算は行っていない。現行は長野県で共同利用の回線を利用し問題はなかったが、新たなシステムに移行した場合は、回線利用料・クラウド使用料が今まで以上になる。イニシャルは国費で賄われるが、運用費用は毎年2000万円弱、と試算している。

問 町村会長である町長に聞く。このように町の財政にも大きな影響を及ぼす標準化である。町村会長として

他の町村会と連携し、費用の軽減及び国の費用負担額の増額を要望すべきと考えるが。

答 町長 当該事業には大きな費用負担が生じる。国へは機会をとらえながら要望

して行く。また、阿部知事が全国知事会長に就任されたこともあり、県とも連携し対応を考えて行く。

(抜粋)

★語句解説★

問 「ガバメントクラウド」の役割とは？

答 これまでは自治体ごとに異なる行政システムや運用ルールが有り、利便性や安全性に差が生じ、業務効率の悪さなどが課題となっていた。この課題を解決するため、全ての行政システムを一つのクラウド環境に統合し、統一したクラウド上で運用することで、効率の改善を図るもの。



萩野 友一
議員

長和町地域公共交通について

町の公共交通の将来はどうなる？

「ながわごん」はまさに「砦」である

問 長和町の公共交通について、昨年度から運行された「ながわごん」の実証運行の結果と合わせ、整備はどのように行われるのか。

答 町長 令和6年4月よりフルデマンド運行を行っている「ながわごん」は多くの町民に利用されている。本年4月からは本格運行を行っているが、実証運行期間と同様に、利用者の情報と数値化し、JRバス関東株式会社と定期的に運行に関する調整・検討を行っている。町の公共交通の整備において「ながわごん」は無くてはならないまさに砦と考えている。今後も様々な意見を頂き、より良い運行体制と地域づくりを進める。

問 予約の方法など、「ながわごん」をスムーズに利用するために、再度、町民に丁寧に説明する必要性を感じるが、町の考えはどうか。

答 総務課長 住民アンケートでは「ながわごん」の運行に関して「利便性が高まった」との回答が半数以上を占め、取組の促進を期待する意見もあった。電話1本で予約ができる仕組みになっているので、分からないことがあれば役場総務課へ問い合わせ頂きたい。引き続き町民へ向けて周知を図っていく。

問 「ながわごん」を快適に利用する体制を作るために、町はこれからどのような施策を行うのか。

答 総務課長 町民を主体として組織している「長和町公共交通審議会」と旅客自動車運送事業者・官公庁等からなる「長和町地域公共



「ながわごん」は、フルデマンド交通になりました。

長和町の小学校教育について

小学校の教育の実態はどうか

町独自の工夫で充実を図る

問 長和町で暮らす小学生に対する教育について、将来の展望、方針はどうか。

答 教育長 学校は地域コミュニティ形成の核となる存在である。「長和町学校のあり方検討委員会」を立ち上げ、今後様々な選択肢を視野に、広く意見を伺いながら検討をしていく。学力向上・定着については、各家庭と連携・協力をしながら

交通会議」の両組織を設置し、様々な協議を行っている。本年度中に「地域公共交通活性化協議会」を設置

し、協議を頂き「地域公共交通計画」の策定、国庫補助確保を目指して施策を展開していく。

ら子どもの実態や地域の実情に即して、教育環境を整備していく。

問 長和町学校のあり方検討委員会の目的はなにか。

答 教育課長 会の目的は、児童数の推移を踏まえ、町立小学校の将来を展望した適正規模、適正配置及び特色ある教育・現状の教育環境全般における研究、検討を行うことにある。（抜粋）



渡辺 久人
議員

合併の成果と羽田町政について

「新町建設計画」「合併の効果」の検証は

20年間、合併の効果は検証していない

問 合併時、合併効果が発揮できる計画として、両町村（長門町・和田村）の速やかな一体化の促進、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を目指し、「長和町まちづくり計画（新町建設計画）」が策定されている。羽田町長は首長として、この20年間で「新町建設計画」の検証あるいは「合併の効果」

について検証を行ったか。

答 町長 新町建設計画における基本理念・基本方針は引き続き継続されるが、主要事業等の計画期間は平成17年度から令和7年度となっており、本年度が計画期間の最終年度となる。計画期間終了後には、主要事業等についての検証を行う予定でいる。

を実施しなかった場合には人口の減少幅はもつと大きくなっていたのではないかなと思う。各施策は人口減少幅の抑制に効果があったものと確信している。

問 新町建設計画では、公共施設統合整備の基本的な考え方が示され、「地域の特殊性や財政事情を考慮しながら逐次整備していくことを基本とします」と示されている。しかし、合併から20年後の今日において、財政を少なからず圧迫している公共施設について、町長の考えは。

答 町長 毎年多額の財政調整基金を取り崩して決算を迎えている厳しい財政状況の中、長和町の持続可能な

財政運営を考えた場合、財源や住民の皆様の利用の状況等、様々な角度から各施設

の検討を行う必要があると考えている。

顔の見える合併・住民融和は実現できたか

融和は深まっていると感じる

問 「新町建設計画」では、住民と行政、お互いの顔が見える合併と住民の融和を述べているが、合併から20年を経過しても合併によるメリットは出ていない、合併前と変わっていないと評価する。お互いに顔の見える合併はできたのか、融和は実現できたのか、町長の見解は。

答 町長 合併以降、5期20年の町政運営を行わせていただき、この場をお借りし

て、議員の皆様、町民の皆様をはじめ、町政運営にご尽力頂きましたすべての皆様に、深く感謝を申し上げます。私の中では、議員の言われる「融和」という部分も、住民レベルでも着実に深まっていると感じていますし、今後も「住民協働のまちづくり」を推進する中から、「元氣が出る町 長和町」の創生に尽力していく所存である。（抜粋）

少子化抑止施策の効果はあったのか 効果はあったと確信している

問 羽田町長が合併後に行った少子化対策は、長和町が少子化ゆえに実施できた事業と理解している。しかし人口減少・少子化に歯止めはかからなかった。町長は

これまでの施策をどう評価するのか。

答 町長 町の人口は、現在も引き続き減少傾向となっている。比較する資料は持ち合わせていないが、施策

議会懇談会 委員会視察研修 広域組合議会 活動報告

■長野県町村議会議員研修会

デジタル化の 波、どう 乗る!?



Tatsuno

7月14日(月)、松本市の
キッセイ文化ホールにおい
て、長野県町村議会議員研
修会が開催され、議員7名
と議会事務局が参加しまし
た。

□ 地方創生のカギは議会
にある。議会改革度調査よ
り 早稲田大学デモクラシ
ー創造研究所 地域経営部
会長 中村健氏
□ 生成AIの衝撃。人工知
能時代をどう生きるか 日

本科学技術ジャーナリスト
会議会長・元NHK解説主
幹 室山哲也氏

人口減少がもたらす「な
り手不足」・「空き家・荒廃
地増加」・「公共交通」・「統
合・縮小・廃止」など地域
や職場などに山積みされた
様々な課題。地方議会は、
住民の意識や価値観の変化
を的確に把握し、デジタル
化の波にきちんと乗り、正
しい操作を検証し、住民生
活の向上を図るための機能
をより一層発揮して行くこ
とが求められている。

人工知能の発達には失業
者の増加・フェイク情報・
情報漏洩等、様々なリスク
が伴う。トラブル、最終的
に責任を取るのは人間であ
るということを失念しては
ならない。

デジタルの波は、情報を
正しく掴んで正しく伝える
こと、人間の持つ根本をき
ちんと守って行くこと、人
工知能がもたらす様々な波
に対する、その是非の判断
は自分達である、というこ
とを痛感した講演でした。

(報告：龍野一幸議員)



長野県町村議会議員研修会

■ 下諏訪町・長和町議会議員研修会



下諏訪町議会議員と、和田宿本陣で研修

議員の交流を通じ、地域を見直す



8月6日(水)、長和町において「下諏訪町・長和町議会議員研修会」が開催されました。

始めに、和田宿において、長和町コンシェルジュの皆さんのガイドにより、本陣と和田宿の街並み・町家の見学をしました。今まで何度も見えていた和田宿もガイドの説明を頂くことで歴史の史実の中に「ドップリ」とつかる経験ができました。下諏訪の議員の皆様も感心されていました。これから

長和町の観光を考える上で歴史、自然、スポーツなど専門のガイドが大変大きな存在となることを実感しました。

次に「信州立岩和紙の里」に場所を移し、和紙の紙漉き体験に挑みました。自分で和紙を漉いて作った団扇に給付けをする体験です。立岩和紙は「こうぞ」の木

の栽培から始まり、昔からの手順に沿って作られた和紙です。

竹で作られた団扇の骨に立岩和紙の紙すきをしていきます。元ができれば、いよいよ給付けです。この給付けがたいそう難しい。専門に作られた給付け用の針を使いうちわに色のついた和紙の原料を載せていきます。普通に描いても絵心に自信のない私なのに、慣れない道具で描く作業に四苦八苦しながら、知らぬ間に没頭し、夢中で描いていました。

見学や作業を行いながらお互いの町の課題や議員活動など様々な話を聞くことができました。顔を突き合わせた会議も大事ですが、議員個人の考えや議会への意気込みなどを聞いたことで、大変有意義な時間を過ごすことができました。意欲を刺激されました。

(報告…荻野友一 議員)

■ 森林・林業、林産業活性化促進議員連盟総会

信州産木材の利用促進を図る取り組み



Sato

8月20日(水)、岡谷市文化会館力ノラホールで、森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議の第30回総会・研修会が開催され、長和町議会から1名の議員が参加しました。

森林資源の活用による産業は、人工林資源が本格的な利用期を迎える中、国産材の供給量が拡大するとともに林業産出額や林業従事者の給与も増加するなど、一定の成果が上がってきており、この流れを加速化させるための施策が必要となっている。

また、「気候崩壊」「地球沸騰化の時代が到来した」

8月20日(水)、岡谷市文化会館力ノラホールで、森林・林業・林産業活性化促進議員連盟長野県連絡会議の第30回総会・研修会が開催され、長和町議会から1名の議員が参加しました。

木造・木質化支援事業

受付期間 (2025年)
6月13日(金) ~ 11月28日(金)
※予算額に達し次第受付終了

多くの県民の皆様が利用する民間施設等における県産材利用を通じ、県産材を身近に感じていただき、利用につなげていただく取組を進めます!

補助金額	木造化	木質化
	最大3000万円	最大200万円

支援内容

対象事業：県産材を使った民間施設等の木造・木質化及びこれにあわせて行う調度品等の設置

対象施設：多くの県民が利用する施設やこどもの居場所(例)商業施設、観光施設、医療福祉施設等

補助率等：補助対象経費の1/2以内
※市町村の場合は1/3以内(木造化(中大規模施設)は対象外)
長野県林業振興部の木造県産材利用推進室

詳細はHPをご覧ください

長野県木造・木質化支援事業

と言われる中、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、我が国最大の吸収源である森林、木材がこれに最大限に貢献していく必要がある。

研修会Ⅰでは、ふるさと信州の豊かな森林と環境を守るため、県、市町村、県民及び事業者が一体となって県産材の利用促進を図る取り組みをどう進めていくかについて「木材サプライチェーンマネジメント」に関し、ノースジャパン素材流通協働組合・鈴木信哉氏より講演が行われた。

国産材時代に向け今取組むべきこと「地域の伝統工芸品の産業への回帰のクラブ」についてなど興味深い内容であった。

研修会Ⅱでは「信州の豊かな森林と環境を守る県産材利用促進条例について」長野県議会環境政策推進議員連盟会長・風間辰一氏より、県の条例の基本理念や基本的施策について説明を

受ける。森林と環境を守るために、県・市町村・県民及び事業者が一体となって県産材の利用促進を図るため、①県による公共建築物等の整備に当たっての県産材の利用 ②木材加工、流通に関する体制の整備 ③脱炭素社会の実現に向けた取り組み、等の基本的な施策について具体事例を交えた説明を受けた。

(報告：佐藤恵一議員)

■ 上田地域広域連合議会管内視察

歪んだフロアー、スペースも手狭に!



Watanabe



上小医療圏の中核「信州上田医療センター」を視察

7月23日(水)、上田地域広域連合議会の両常任委員会合同で、信州上田医療センターの視察を実施しました。長和町議会からは森田議長と渡辺副議長が参加しました。

信州上田医療センターは戦前の旧国立長野病院、戦後の国立東信病院を経て、平成16年に厚生労働省が所管する日本最大の病院法人グループ「独立行政法人国

立病院機構信州上田医療センター」となり、今に至ります。

私事ですが、30年ほど前に同病院において研修を行い「救急救命士」としての知識とスキルを高めた病院になります。

今回の視察の目的は、病院施設の状態確認と、病院からの要望聴取のため行われました。

医療センターの建物は建

設から40年程経過して、各階のフロアーが歪んで盛り上がりつつある、資材の保管場所や通路などのスペースが狭くなっている、また、近年の救急搬送患者の増加に反し処置室が時代遅れであるなど、改善の要望が担当医師からありました。

信州上田医療センターは令和7年4月から「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けています。「上小モデル」を構築するため、高齢者介護・障害者支援・国民年金・高額療養費利用に係わる行政職員及び臨床心理士の派遣要望が出されました。

同センターには、広域連合としてこれまで二次医療完結のため、ふるさと基金を利用し支援を行ってきたが、広域連合議会としてこの要望に対し今後どう対応するのか、新たな課題となりました。

(報告：渡辺久人議員)

■ 上田地域広域連合議会行政視察



上田地域広域連合議会行政視察（順天堂練馬病院）



練馬区が 順天堂大学 病院を誘致！

7月10日（木）～11日（金）
上田地域広域連合議会の神奈川県東京方面への行政視察に、森田議長・渡辺副議長が参加しました。広域連合が進めている資源循環型施設の先進地として高座クリーンセンター、上田医療圏に関連し順天堂大学医学部附属練馬病院、練馬区防災センターを行政視察しました。

■ 視察1 高座清掃施設事務組合 高座クリーンセンター（平成31年3月竣工）
高座清掃施設組合は、

神奈川県中央に位置し、海老名市、座間市及び綾瀬市の3市のごみ処理をしています。

国内で最も採用されている「安全・安心」なストーカ方式を採用した最新の焼却炉は、発電効率が20%を超える国内最高水準の高効率ごみ発電施設となっています。また併設する環境プラザは、エコキッズパーク・音楽



高座クリーンセンター展望室からの眺望

ろです。

■ 視察2 順天堂大学医学部付属練馬病院
練馬区は人口約74万人の大きな区ですが、

以前は、救急搬送・入院患者の6割以上が区外の医療機関に搬送されていました。

練馬区は、この課題解決のため病院誘致計画を進め、平成17年7月に練馬区高野台に順天堂大学医学部附属の6番目の病院を開院しました。令和5年3月

には3次救急（救命救急センター）の認可を受けました。

杉田学副院長（学生時代は菅平でラグビー）から救急医療が診察・診断後に迅速な転院を行う「東京ルール」で病床回転率を高めていること、医師240人中研修医60人と医師の育成も積極的に行っていると説明がありました。

上田医療圏にも地域医療

をリードする医療機関とスタッフの必要性を改めて感じました。

■ 視察3 練馬区立防災学習センター
この施設は、防災資器材の展示や災害時に役立つ防災体験などができるコーナーがあり、「見る・学ぶ・体験する」をテーマにした防災学習施設です。

練馬区の避難拠点（避難施設）は、区立小中学校を中心に160箇所指定しており、各避難拠点の運営は地域住民と学校関係者で構成された「避難拠点運営委員会」で行っています。また、町会・自治会単位での自主防災組織では訓練の実施や防災リーダーの育成が活発に展開されています。

福祉避難所については自治体単独での対応は困難であることから、上田広域内での協定・調整が必要となります。

（報告：渡辺久人議員）

一部事務組合議会報告

依田窪医療
福祉事務組合議会

一部事務組合議会報告



Tatsuno

円の減額となった。主な要因はコロナ関連の国庫補助金の減額と人事院勧告に伴う給与体系の変更に伴うもの。

9月30日(火)、依田窪医療福祉事務組合議会、令和7年第2回定例会が開催され、令和6年度決算等について審議を行い、全ての議案が全員賛成で可決されました。

令和6年度依田窪病院事業会計決算について 収益的収支は、事業収益32億8382万円、事業費用は固定資産の除却などの特別損失を含め35億8398万円で、差し引き3億17万円の純損失を計上(表1)。前年度比1億8380万

人口減少に伴う地域医療は・人材確保は・DXの進捗は、などの質問に、城下院長から病院体質の改善や入院収益の向上・デジタルを活用した業務の効率化・医大生との交流などに既に取り組んでいること、高齢者に対する医療体制強化への課題など、現状と方針が示された。内部努力だけでは厳しく、自治体病院の存続は市町や国からの支援は必須だ、との要望も出された。(報告：龍野一幸議員)

上田市長和町
中学校組合議会



Abe

9月30日(火)、中学校組合議会令和7年9月定例会が開催され、令和6年度一般会計決算の認定、令和7年度一般会計補正予算について審議を行い、全ての議案が全員賛成で可決されました。

令和6年度一般会計決算の認定について 歳入1億1297万円 歳出1億1010万円、差引残額287万4千円。組合負担金は9781万1千円で、市町の負担割合は、長和町60・7%、上田39・3%である。(表2)

令和7年度一般会計補正予算について 歳入歳出に204万8千円を追加する。歳出増の主な理由は、教職員の人事異動に伴う人件費、給食センター施設の擁壁工事の見積もり調整他、給湯器部品の交換、設備修繕費など。また、教頭先生から部活動の地域移行の現状についての説明があり、現在は外部指導者の協力を得ながら運営を続けていることが報告されました。(報告：阿部由紀子議員)

表2 令和6年度 上田市長和町中学校組合一般会計の主な歳出決算額 (単位：千円)

款	項	令和6年度	令和5年度	前年比	摘 要
議会費		167	191	△ 24	
総務費	総務管理費	940	1,600	△ 660	
	監査委員費	43	47	△ 4	
教育費	教育総務費	9,639	9,335	304	事務局職員人件費
	中学校費	84,657	87,643	△ 2,986	図書館費 697 学校備品 2,958
公債費		14,659	14,664	△ 5	
予備費		0	0	0	
歳出決算額		110,105	113,481	△ 3,376	

□ 議会議員報酬額

(令和7年12月1日から適用)

役職	議員報酬月額
議長	280,000円
副議長	227,000円
常任委員長	212,000円
議会運営委員長	212,000円
議員	206,000円
政務活動費	5,000円

長和町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

長和町議会議員選挙後の、令和7年12月議会から、次表のように改定されます。

議会改革

★9月議会に町から提出された議員報酬に関する条例を可決！

議員報酬増が実現！

★議会から提出した要望書を受け、町は特別職報酬等審議会を開催。審議会からの答申を受け、回答書が議会に示されました。

長和町議会議員報酬の見直しの要望について (回答)

長和町特別職報酬等審議会からの答申を受けて、町から議会に回答が示されました。回答書の概要を掲載します。

1. 審議の内容 (1) はじめに

令和7年6月19日に議会からの要望書を受け取り、令和7年7月28日に第1回長和町特別職報酬等審議会を開催、長和町議会議員の報酬額の改定について諮問した。

この際、平成17年の町村合併時より議員報酬額が改定されてい

いことや議員の職責、他の地方公共団体の状況、社会情勢の変化、町の財政状況等を踏まえつつ、町民の理解が得られる報酬額とすべきであることを審議会に求めた。

(2) 審議経過

審議に当たっては、合併時14人であった議員定数が現在定数10人に減っている状況を踏まえ、町の財政状況なども勘案しつつ改定の可否を確認して頂いた上で、各委員が町民各層の代表としての様々な視点から、公平・公正な考え方を念頭に、慎重に審議を行って頂いた。

なお、9月議会定例会に条例改正案を上程する必要があるため、

日程的に委員が参集しての会議調整が困難であったことから、2回目以降については書面開催による審議となった。

(3) 結論

改定額の算定方法については、全国町村議会議長会が指針として示した「原価方式」が採用された。

但し、議会より示された議員の活動日数の積算方法において、1日を8時間とする積算の原則が定例会の開会日や一般質問、常任委員会等の議会活動では、業務従事時間が8時間に満たないにも関わらず1日として計算されていたため、会議録などからそれぞれの時間を確認し直し、改めて時間単位

による議会活動日数を計算した結果、議会側から示された51日より12日少ない39日となった。

この結果から、議会側から要望された「原価方式」に基づき報酬額を算出し、議会の要望書でも引用していた全国町村議会議長会の指針による加算率にて、議長・副議長・常任委員長の報酬額が算出された。

算出された報酬額は、県内全町村の平均額や人口同規模町村の平均額と比較してもそれ以上の額であり、増額となる議員人件費の総額について、当町の財政状況等を加味して確認し、現在において適正であるとの判断となった。

また、政務活動費については従前どおりの額としている。

2. 付帯意見

今回、審議の中で審議会委員より次の意見や要望が答申書に付帯意見として付言された。議会として対応をお願いしたい。

(1) 住民の理解と審議期間について

議会より提出された要望書類に

において、議員懇談会の開催や住民アンケート調査の取り組みは実績として確認できるが、懇談会への住民参加率やアンケート調査の回答率が極めて低く、この度の報酬改定に向けた審議において住民の理解を得ているとは言い難い。

また、次期町議会議員一般選挙に向けて増額改定するよう要望されているが、報酬額の改定には条例改正として議会議決が必要となり、基本的には議会9月定例会に



羽田町長から回答書を受け取る

条例改正案を諮らなければ間に合わないこととなるが、議員報酬という重要な審議を行う期間が2カ月足らずしかない要望時期についても、本来であれば不十分と言わざるを得ない。

しかし、合併以降一度も改定されていない点を最重要と捉え算定結果が複数の視点から見ても妥当であることから、議会9月定例会を見据えて実施すべきと判断した。

(2) 増額費用について

今回の改定により、議員1人当りの報酬年額は手当を含め平均で59万2千円増額、人件費総額が591万7千円増える。

このことが町財政に与える影響を深く理解し、次期の議員活動に反映して頂きたい。

(3) 議員のなり手不足解消に向けて

人口減少・少子高齢化が進む中で、議会においても多様な考え方やあらゆる問題に取り組んでいく必要があり、女性や若者が立候補しやすい環境を整えていくことが重要になる。地方

における議員のなり手不足は深刻な状況にあり、当町においても同様であることから、町民福祉の更なる向上のためには議員活動の活性化が不可欠であり、議員報酬を増額することは適当と判断した。

但し、議員のなり手不足は単に議員報酬が低いことで生じている問題であるとは言えず、議会議員の魅力や安心して活動ができる環境づくりも必要だと考える。また、女性や若者が立候補しやすい環境づくりが求められていることを踏まえ、例えば子どもの一時預かり場所を設けるなど、より具体的な環境整備について検討されたい。

(4) 議会運営について

住民の代表であり議決機関である地方議会は、町の未来を決めていく極めて重要な役割を担っており、議場での議論は執行部及び議員共に真摯な姿勢で臨むべきである。議会においては、一般質問により事務執行の状況や政策方針が確認されているところであるが、一般質問の質を高めることは議会全体の信頼の向上に資するもので

あり、次の点に留意して議会運営を進めて頂きたい。

① 一般質問においては、決して議員個人の考えで要望や行政の取り組みを質すのではなく、町民の代表として町民の利益に直結する重要な課題に焦点が当たるよう、事前に住民の意見を十分に聞いて調査と準備を行い、具体的かつ建設的な質問に心掛けて頂きたい。

② 複数の議員から同様の質問が行われることは、議会運営の効率低下を招く可能性がある。議員間で事前に質問内容を調整するなど、重複を避ける取り組みを望む。

③ 議場において執行部と議員が真摯な姿勢で議論する状況を町のライプ配信で住民に伝えることは、行政への関心を高め、信頼される議会運営に資する。このため、議会が町民の信頼を得るための場であることを常に念頭に置いて、町民誰もが安心して視聴できる環境づくりに努めて頂きたい。

(5) 町の発展に向けて

このたび、県内の町村や類似自治体の平均を上回る報酬とする結論に至った背景には、行政と共に

森田議長の議会概説(19)

● これからの議会に期待される新たな役割について、最終回は議会の持つ調査権について、概説します。

問 「町議会は何ができる？何をやる？」②

答 町議会は条例や予算などの議案を議決し、町の事業の方向性や大枠を決定します。その後に必要ならば、決定した政策を行政が適正に執行しているかを検査するため、書類や計算書の検閲、報告書の請求を求めることができます。その範囲と方法は議会で議決し、本会議または委員会では検査を実施します。また、議会の議決をもって監査委員に町の事務に関する監査を求めることができます。

常任委員会は、議長に通知し承認を得て、その所管する町の事務に関する必要な調査を行うことができます。また、議会は町の事務に関する重大な疑惑や不祥事などを調査するため地方自治法第百条に規定する調査権を持ち、事件に関わる人の出頭や証言や記録の提出を請求し、その真相に迫り監視機能を発揮します。

町民の代表である町議会議員及び議会の果たすべき職責が益々増大して、これまで以上に町民の期待が寄せられている状況があり、議員がその職責を果たすために必要な活動に応じた報酬とするべきとの意見に集約されたものであり、議員活動の在り方を含め、更なる議会の魅力向上に努めて頂きたいとする強い思いが込められています。

町民の負託に応えるべく今後とも町政の発展と町民福祉の更なる向上のために、より一層のご尽力をお願いしたい。(抜粋)

Morita



● これまで長和町議会に注目して拙文を読み叱咤激励下さりありがとうございました。議会概説はこれで終わりますが、新議会議員と新議会の活動により一層のご支援をお願い申し上げます。(森田)

★表紙写真の説明★

■ 「美しの塔」(和田美ヶ原高原)

八ヶ岳中信高原国定公園の最北に位置する「美ヶ原高原」は、松本市、上田市、長和町に跨がる日本一広い高原台地として知られ、主峰は日本百名山の一つ標高2034mの王ヶ頭です。

美ヶ原のシンボル「美しの塔」は、濃霧による遭難を防ぐため



「霧鐘」を備えた避難塔として設置されました。

山本小屋を開き登山道を整備し美ヶ原の名を広めた山本俊一翁の顔の浮彫が北面に、南面に尾崎喜八の詩が埋め込まれています。美しの塔は長和町の北西端に位置します。

■ 今号までのながわまち議会だより(PDF版)は、長和町HPの議会ページにあります。タブレットやパソコン、スマホで見ることが出来ます。



令和7年度 第2回

議会報告懇談会 Workshop開催!

新人議員も交えてみんなで語ろう!

- 令和7年度 第2回 前半は、「令和6年度 長和町決算概要」について、町民の皆様
に報告し、ご意見を伺います。
- 後半は、小人数グループに分かれて、新議員が選ばれたこの時を受け、ワークショ
ップで「町や議会に望むこと」を、町民の皆様から伺いたいと思います。
- 基本的に2会場とも同じ内容で開催します。予約は不要です。ご都合のよい会場
へお気軽にお出かけ下さい。ご参加、お待ちしております。

11月15日(土)

10時 大門基幹集落センター

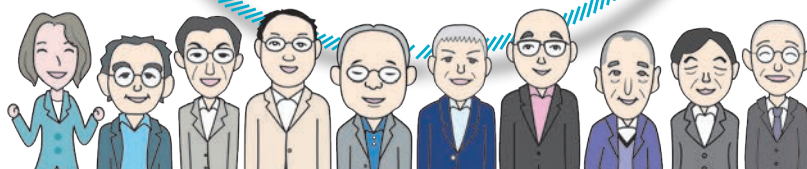
14時 長和町役場町民ホール

— 町の将来に向けて皆様の意見を、政策に繋ぎます! —

《テーマ》

“町に望むこと”

— 議会に希むこと、議員にのぞむこと —



長和町 あの人を訪ねて

— 第26回 —



おだに さち
小谷 沙智 さん
(長久保 16 区)

略歴・活動

1977年新潟県生まれ。2025年1月に地域おこし協力隊として長和町へ移住。中央分水嶺トレイルをはじめとした長和町の自然資源を活かした観光PR、イベント企画などに取り組む。

備や試走イベント、広報活動を行っています。町内外の大会にも積極的に参加し今年6月には100kmのトレイルランニングレースを完走しました。

長和町の豊かな自然環境をスポーツを通じて伝えること、訪れた人が何度も足を運びたくなる仕掛けづくりを目指しています。

問 今後の目標や取り組みたいことは何ですか？

答 先ずは目前に迫った「信州・長和マウンテントレイル」を無事に開催し、毎年続くイベントとして盛り上げたい。今後は新しいルートの開発などにも取り組んで、トレイルランナーが足繁く通う「遊び場づくり」を行いたいと思います。私自身が長和町の素晴らしい自然に感動したように、多くの方々にその魅力を知ってファンになって頂きたいです。町民の皆さんにも、自然を再発見しより町を好きになって頂く機会を提供して、未来につながる活動を一緒に築いていきたいと考えています。

広報広聴常任委員会が町民の皆様を訪れ、意見や活動をお聞きします。

問 どうして長和町に？

答 ファッションデザインの専門学校卒業後、東京で約20年過ごしました。新潟県の小さな村で育ったこともあり、都心の暮らしは少し息苦しく、郊外の立川市で大半を過ごしました。

2年ほど前、コロナをきっかけに、健康的な趣味を求めてトレイルランニングに出会い、瞬間に夢中に。当時アパレル業に従事していましたが、環境負荷の高い業界への疑問も強くなり、その反動で自然に近い環境で働きたいという思いが膨らんだ。

でいきました。転職先を模索する中で、現在のミッションに変な魅力を感じて移住を決断。地域おこし協力隊として新たな挑戦をスタートさせました。

問 現在はどうのような活動をされていますか？

答 協力隊のミッションとして「霧ヶ峰・美ヶ原中央分水嶺トレイル」をはじめとする自然資源を活用した観光振興に取り組みしており、観光協会に席を置いています。現在は10月開催予定の「信州・長和マウンテントレイル」の運営に参画し、コース整

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の思いなどを掲載します。
第80号は、**原田恵召** 議員です。



▼今年になって各地の自治体や消防署などの一部事務組合で、車載テレビのNHK受信料が支払われているというニュースが報道され始めました。▼企業や自治体などではテレビ機能のあるカーナビがついていると1台毎にNHKと受信契約をしないと違法になるということから金額の大小はありますが支払い義務が発生します。▼長和町もこの対象になりました(P・14中段)。寝耳に水の話で納得できない話ですが、法律なので仕方がない。悪法も法の最たるものです。全国の自治体など2千を超える団体が対象だとするとNHKは30億円越えの臨時収入となります。やっぱり納得できません。国会議員には法律の改正を訴えています。

ながわまち 議会だより

広報広聴常任委員会

委員長 羽田 公夫
委員 龍野 一幸
佐藤 恵一
田福 光規
渡辺 久人
編集 森田 公明

■町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp